

平成18年11月8日

各位

東京都千代田区二番町5番地5
 会社名 21LADY株式会社
 代表者名 代表取締役社長 広野道子
 (本名: 藤井道子)
 (コード番号: 3346 名証セントレックス)
 情報取扱責任者: 経営管理担当取締役 岡田剛士

平成19年3月期中間業績予想(連結・個別)修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成18年8月11日に公表いたしました平成19年3月期中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想

【連結】

(1) 平成19年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	2,146	89	39
今回修正予想(B)	2,167	65	24
増減額(B-A)	21	23	15
増減率(%)	0.9	26.8	38.8
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	4,013	33	40
(ご参考) 前年同期(平成18年3月中旬)実績	1,973	40	31

(参考) 一株当たり予想中間(当期)純利益 561円06銭

【個別】

(2) 平成19年3月期中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	93	3	5
今回修正予想(B)	93	7	13
増減額(B-A)	0	10	18
増減率(%)	0.0%	-	-
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	378	13	12
(ご参考) 前年同期(平成18年3月中旬)実績	181	11	18

(参考) 一株当たり予想中間(当期)純利益 318円23銭

2. 修正の理由

(1) 連結業績

今回の業績修正におきましては、売上高は確保したものの、各子会社における企業価値の向上を目指し人材育成や、設備投資による更なる生産性の向上への準備を進めた結果、コストが先行した結果となり、予定しておりました収益を確保することができない見込となりました。また、当中間期に、個別において減損損失を約 15,000 千円、株式評価損を約 6,000 千円、特別損失として計上いたしました。この結果、中間連結業績予想は売上高 2,167 百万円、経常利益で 65 百万円、中間純利益で 24 百万円となる見込となりました。

(2) 個別業績

個別に関しましては、子会社同様利益率の向上に努めた結果、利益率が改善し、経常利益が予想を上回る結果となりました。また、上記連結業績で述べました、約 21,000 千円の特別損失の計上がありましたが、子会社投資損失引当金戻入益による、約 27,000 千円の特別利益を計上したことで、当期利益に関しましても予想を上回る結果となりました。(子会社投資引当金戻入益に関しましては、連結上は相殺されます。)これらの要因により、個別の中間業績予想は売上高 93 百万円、経常利益 7 百万円、中間純利益 13 百万円になる見込です。

なお、平成 19 年 3 月期通期業績予想に関しましては、中間決算発表時にお知らせいたします。

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる可能性があります。

本件に関するお問い合わせ先

21LADY株式会社 経営企画担当(倉田、薬師寺) 03-3556-2121

以 上